学習　少人数学習による「わかる」そして「できる」と感じる授業を実践

① 国語、数学、英語、商業の科目で、習熟度別授業やT・T（ティーム・ティーチング）による授業を実施。
② 進学希望者には、平常課外や長期休業中の課外、個別指導・添削指導を実施。
③ 基礎学力が定着していない生徒には、放課後に学習支援員による「フォローアップ学習会」を、また、長期休業中には教科担当者による「学力アップ学習会」を実施。
④ 考査前には、学び合い・教え合いスタイルの「考査前学習会」を実施。
⑤ 学習の基礎となるリーディング・スキル（読解力）の育成を重視。
⑥ 授業や朝学を通して、様々な検定や資格へのチャレンジが可能。



（例） Literas　論理言語力検定、日本漢字能力検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定、簿記能力検定、珠算・電卓実務検定、ビジネスコミュニケーション検定

進路活動　自己実現を可能にする3年間を見通した進路行事

1年	適性検査、職業講話、職業調べ、職業別体験学習、校内企業説明会、キャリア形成期支援セミナー、インターンシップ報告会、進路体験発表会、進学相談会、進学課外、外部模擬試験受験　＊各学年とも令和２年度の進路行事です
2年	進路講話、分野別進路相談会、進路アドバイザー面談、校内企業説明会、キャリア形成期支援セミナー、就職活動準備期支援セミナー、インターンシップ事前指導、インターンシップ（職業体験）、インターンシップ報告会、進路体験発表会、進路フェスタ参加、進学相談会、進学課外、外部模擬試験受験（進学・看護・公務員）
3年	一般常識問題演習、模擬面接、小論文・作文の書き方、進路アドバイザー面談、就職希望者生徒・保護者合同説明会、求人票ガイダンス、応募前企業見学、就職希望者履歴書・面接指導、進路フェスタ参加、進学希望者生徒・保護者合同説明会、進学課外、外部模擬試験受験（進学・看護・公務員）

進路実績　進学から就職まで10年連続で進路実現100％を達成

大学・短大　奥羽大、日本大、東日本国際大、東北福祉大、日本ウェルネススポーツ大、城西大、法政大、東京福祉大、文京学院大、京都造形芸術大、福島県立農業短大、郡山女子短大、福島学院短大（過去5年間の実績）
看護学校　大田看護専門学校、竹田看護専門学校、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校（令和元年度の実績）
専門学校　テクノアカデミー郡山、郡山健康科学専門学校、国際アート＆デザイン大学校、仙台工科専門学校、仙台こども専門学校、国際テクニカル調理専門学校、日本工学院八王子専門学校（令和元年度の実績）
公務員　猪苗代町、自衛官一般曹候補生（令和元年度の実績）
民間企業　日本郵便（株）東北支社、（株）ヨークベニマル、（有）えん家、（医）ケアテル、（株）フリーデン、（株）マキシス精工、マックスバリュー南東北（株）、（有）安積自動車整備工場、（株）福島高木郡山工場、（有）FM フナハシ、（有）上妻製作所、（福）南東北福祉事業団、ホーコス福島（株）、つるや（株）関東事務所、（株）ウィンズ、（株）アラカワ、（株）オネスト ノボオフィス、奥越部品（株）、（株）吉城光科学、（有）榎並商会、スーパーオートバックス郡山南、（医）むつき会、（株）ワールドストアパートナーズ、（株）MIDORI、日工産業（株）、（株）環境土木、（株）あいの里（令和元年度の実績）

入試情報　湖南高校は、君の新しい挑戦を全力で応援します！

(1) 募集定員　　全日制・普通科　40名
(2) 選抜について　＊以下は昨年度の内容です。本年度選抜については、後日、本校ホームページ上で発表します。
　特色選抜　（学力検査・個人面接・特色検査）　募集定員の10％（4名）程度を募集。
　一般選抜　（学力検査・個人面接）　募集定員から特色選抜合格者を除いた人数を募集。
　後期選抜　（個人面接・小論文）　募集定員から特色・一般選抜合格者を除いた人数を募集。

福島県立湖南高等学校
〒963-1633　郡山市湖南町福良字車ノ上 8453-1
TEL：024(983)2126　　FAX：024(983)2909

湖南高校公式ホームページ
https://www.konan-h.fcs.ed.jp/
いつも新鮮な話題を発信しています







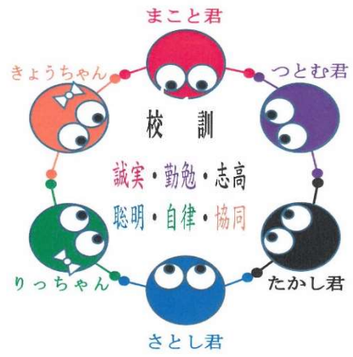


湖南
学校案内２０２０









KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の「湖南町のロゴを勝手につくっちゃお」企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していく予定です。

湖南高校は、昭和23年に地域の熱い要望により福島県立大槻高校福良分校として開校して以来、72年の歴史を持つ伝統校です。卒業生は4000名を超え、各界で活躍しています。平成30年度入学生より1学年1学級の小規模校となり、「先輩と後輩」「生徒と先生」「学校と地域」がより強い関係で結ばれ、一人一人の存在が大切にされています。湖南高校は、君の新しいチャレンジを、"本気で"そして"みんなで"サポートします！

湖南高校で学ぶ3つのメリット



少人数教育による習熟度別の学習指導

生徒同士の学び合いや教え合いとともに、全ての教員が全生徒について熟知しているため、基礎学力の定着や発展的学習など、個々の生徒に応じた授業が展開されています。



一人ひとりの希望に沿った細やかな進路指導

個別の添削や課外授業に加え、面接指導や各種資格の取得に向けたサポートなど、個々の生徒の多様な進路目標達成のため、全教員が全生徒の進路指導を担当しています。



四季の変化も楽しむことのできる安心のバス通学

希望ヶ丘(約 45 分)・大槻車庫(約 30 分)から校門前まで路線バスにて通学することができます。また、磐越西線の上戸駅(約 35 分)から路線バスを乗り継いで通学することも可能です。

教育課程 ～理解度や進路希望に応じたカリキュラムを設けています

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合				現代社会			数学Ⅰ				科学と人間生活			体育			保健	音楽Ⅰ		コミュニケーション英語Ⅰ				家庭総合		社会と情報		総合	LHR
2年	現代文B				世界史A			数学Ⅱ				化学基礎				体育		保健	コミュニケーション英語Ⅱ		家庭総合		古典B 簿記		数学A ビジネス基礎		英語表現Ⅰ 情報処理		総合	LHR
3年	現代文B				日本史B			数学Ⅱ				生物基礎			体育		コミュニケーション英語Ⅱ		古典B 簿記		化学 政治経済 スポーツⅡ				数学B 生活と福祉 ビジネス実務		英語表現Ⅰ 子どもの発達と保育 ビジネス情報		総合	LHR

本校では、国語・数学・英語・商業の科目については、原則、習熟度別に授業を展開しています。　　は、進路希望に応じた選択授業です。

湖南高校の一年(令和２年度予定)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
始業式 入学式 対面式・部活動紹介 PTA総会 スマホ安全教室	生徒会総会 選手壮行会 くるっと湖南 前期面接旬間 中間考査	春の遠足 花壇整備 交通安全教室 期末考査	美化週間 薬物乱用防止教室 終業式 中学生１日体験入学 夏季課外	湖岸清掃 始業式	生徒会役員選挙 防災教育 球技大会 運動会 中間考査
10月	**11月**	**12月**	**1月**	**2月**	**3月**
秋の遠足 修学旅行 三校合同ワークショップ 後期面接旬間	インターンシップ 校内企業説明会 期末考査	美化週間 進路体験発表会 終業式 冬季課外	始業式 インターンシップ報告会 学年末考査(3年) 冬の遠足	スキー授業 除雪ボランティア 学年末考査(1・2年) 表彰式	卒業式 終業式 離任式

部活動

ひたすら、自分と向き合う経験



ソフトテニス部

仲間とともに、分かち合う経験



総合文化(PC)部



総合文化(音楽)部



ボート部

過去10年間の大会実績

H21　全国インターハイ出場
H22　全国インターハイ出場、国民体育大会出場[県選抜]
H23　全国選抜大会出場
H24　全日本ジュニア選手権出場
H25　全国インターハイ出場、国民体育大会出場[県選抜]、全国選抜大会出場
H26　国民体育大会出場[県選抜]
H27　全国インターハイ出場、全国選抜大会出場
H28　国民体育大会出場[県選抜]
H29　国民体育大会出場[県選抜]
H30　全国インターハイ出場
R1　東北高等学校選抜大会決勝進出（片平中出身 大山裕弥）

その挫折と達成感が、君を成長させる。新しい挑戦を！

地域とのつながり ～湖南ならではの行事が沢山あります

コミュニティ・スクール

学校と地域の両方を元気にするため、地域の方々が学校運営に協力し、また、学校も探究活動を通し地域の課題解決に協働して取り組んでいます。県内の高校では、本校が初めて指定されました。



湖南の自然・文化体験

春には、湖南の文化財や自然に触れる「ぐるっと湖南」や猪苗代湖岸でバーベキューを楽しむ「春の遠足」。冬の体育では、ほとんどの生徒にとって初体験の「スキー授業」。そして、本格的なスキー場での「冬の遠足」の行事も設けられています。







ボランティア活動 ～人間性を磨く行事が沢山あります

湖岸清掃

昭和48年から続く行事で、猪苗代湖畔の雄大な自然、豊かな水、生き物たちを守るために、猪苗代湖の南岸の美化活動を行っています。



除雪ボランティア

雪害に悩む高齢者の方々が、安心して生活するための手助けとして、平成9年から続く行事で、地域の方の感謝の言葉によって体と心が温まる、達成感の大きな取り組みです。

